

弾道ミサイル飛来に伴う学校の対応について

対 応 内 容	
事前	<p>○ 児童生徒等に対し、弾道ミサイル飛来に伴う行動等について指導する。 〔指導内容例〕</p> <p>① 弾道ミサイルの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弾道ミサイルは発射から極めて短時間で着弾すること ・ミサイル着弾時には爆風や破片などによる被害が想定されること。 <p>② 弾道ミサイル飛来等に関する緊急情報の発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国瞬時警報システム（Ｊアラート）、防災行政無線や緊急速報メール等があること。 <p>③ 発生時の行動方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況を判断し、自ら身の安全を確保できるように落ち着いて行動すること。 <p>○ 危機管理マニュアルに基づいた避難訓練を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設内の避難に適する場所を確認しておく。 <p>○ 行動方法や学校の対応等については、保護者に対しても周知し共通理解を図っておく。</p>
	<p style="text-align: center;">ミサイルの発射情報の後、避難メッセージが流れたら</p>
発生時	<p>【在校時】</p> <p>○屋外にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速やかに教室等の屋内に避難する。 ・屋内に避難できない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。 <p>○屋内にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設内のできるだけ窓のない空間に避難する。 ・窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる。
	<p>【登下校時】</p> <p>○屋外にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの頑丈な建物や地下に避難する。 ・近くに適切な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。 <p>○自動車等の車内にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンに引火するおそれがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下などに避難する。 ・周囲に避難できる頑丈な建物がない場合は、車から離れて地面に伏せ頭部を守る。 ・車外に出ると危険な場合やすぐに車外に出られない場合は、車内で姿勢を低くして頭部を守る。 ・公共交通機関利用時は、運転手や係員の指示に従う。
	<p>【休日・夜間等】</p> <p>○屋外にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの頑丈な建物や地下に避難する。 ・近くに適切な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。 <p>○屋内にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓のない部屋に移動する。 ・窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる。
	<p style="text-align: center;">近くにミサイルが着弾したら</p>
事後	<p>【共通】</p> <p>○屋外にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口と鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。 <p>○屋内にいる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
	<p>○ 情報収集に努め、行政からの指示があればそれに従う。</p> <p>○ 児童生徒等の安否を確認し、必要に応じて保護者へ安否情報の伝達等を行う。</p> <p>○ 必要に応じて保護者へ児童生徒等の引き渡しを行う。</p> <p>○ 所管教育委員会に対し状況報告を行う。</p>

【参考】「国民保護ポータルサイト」（内閣官房）<http://www.kokuminhogo.go.jp/>